

地方でインターンシップを充実させる取り組み



山口県インターンシップ推進協議会

運営委員長
山口大学学生支援センター 教授
平尾元彦

現状認識編 地方におけるインターンシップの意義

高校生の●割は県外へ

進学で県外へ出た若者が、戻ってこない
県内学校への進学者も、就職では県外へ
地域の将来を担う人材への危機感 ⇒ 地方型人材の育成

一方で、

就職難と採用難の同時進行 活躍する人材が不足

学習意欲の低下、就職意欲の低下

自ら考え自ら行動する人材育成は喫緊の課題

⇒ 自律型人材の育成

インターンシップは効果がある・・・としておこう

現状認識編 地方におけるインターンシップ拡大の壁

- ① 通勤問題 自宅・下宿から通勤できるか
地方は車社会 自動車通勤できない学生
コストを上回る便益が得られるかの確信
- ② 産業・企業の偏在
学生の希望と県内事業所のギャップ
IT・国際・研究・マスコミ・出版・・・
- ③ 情報格差 学校からの情報が中心
就職ナビのほかに他県情報は入りにくい

地域協議会は重要な役割を果たす・・・としておこう

現状認識編 地方におけるインターンシップ拡大の壁

- ④ やる気がない
 - 学生のやる気
 - 大学のやる気
 - 事業所のやる気

地域協議会は重要な役割を果たす・・・ことができるのか？

現状認識編 インターンシップ4主体の思惑 ～ ホンネで

- 企業 優秀な人材にきてほしい 採用につなげたい
自社のPR 社会貢献・地域貢献
面倒 負担 おつきあい
- 行政 県内外の学生が地域に定着 できればUターン
- 学生 就職に役立てたい 成長したい
お金かけたくない 意味ないところに行きたくない
- 大学 成長してほしい 学習意欲・働く意欲を高めたい
数を増やしたい ボトムもなんとか

地域協議会は思惑のバランスの上に成り立つ

現状認識編 皆がやる気に満ちたシステム設計のために

- ① 質の問題 よい学生 明確な目的意識
 よい企業 魅力的なプログラム

- ② 内外問題 県内出身県内学生 → 県内
 県外出身県内学生 → 県内 or 地元
 県内出身県外学生 → 県内 or 下宿先
 県外生を受け入れるかどうかの問題が発生

- ③ 組織問題 効率的なマッチングの仕組み
 継続的・安定的な運営の仕組み

地域協議会はこれらの問題に立ち向かわねばならない

取り組み編 山口県インターンシップ推進協議会

実績（平成25年度）

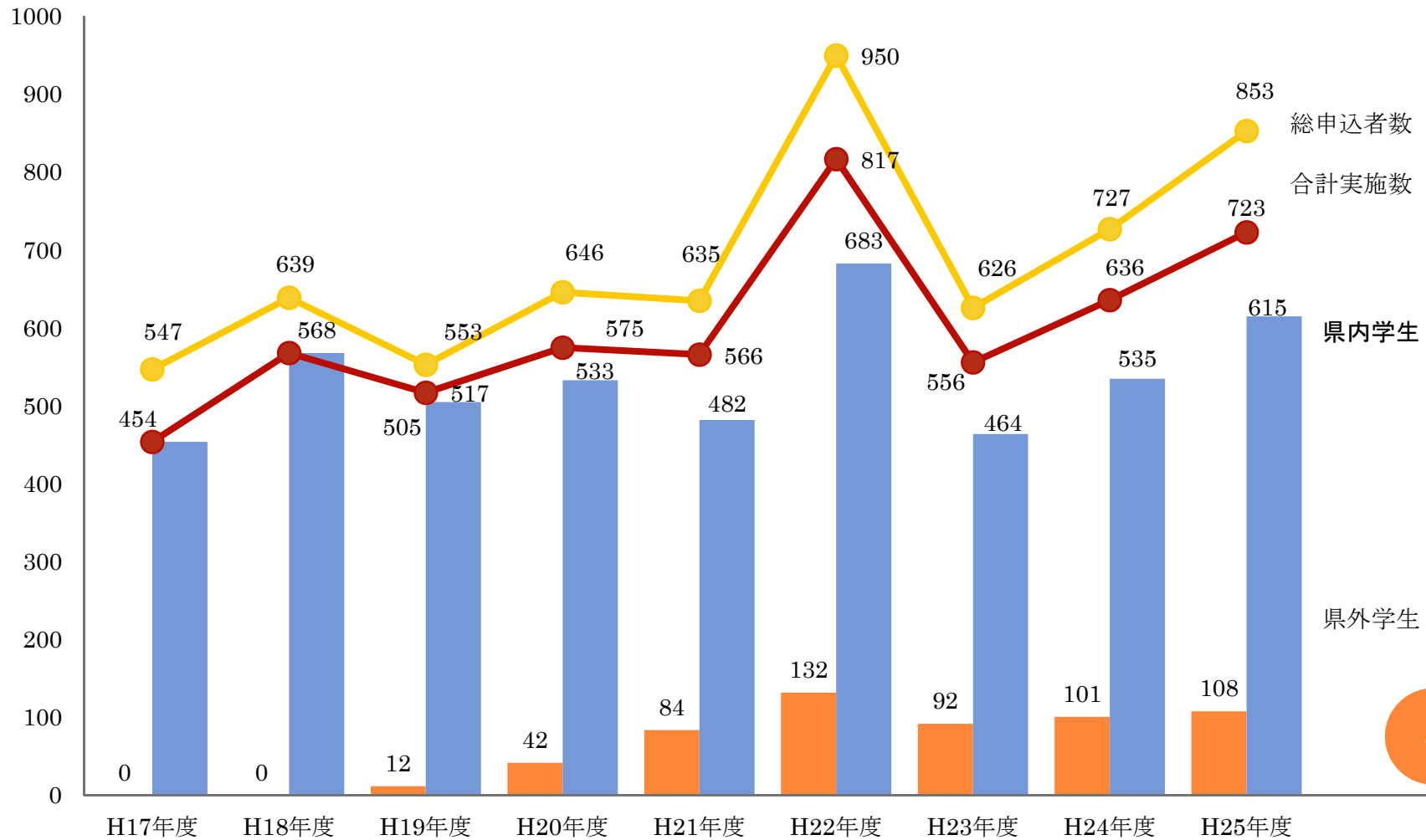
受入可能事業所 433 受入事業所 241

申込数 853 実施 723 実施率 84.8%

県内16校 615 県外校 108 （県外率14.9%）

取り組み編 山口県インターンシップ推進協議会

推移



取り組み編 山口県インターンシップ推進協議会

特 徴

- ① 産学公連携による地域インターンシップ推進組織
会長・運営委員長は山口大学 事務局は経営者協会
全校参加の体制づくり 山口はひとつ！
- ② 会費による運営と県からの委託事業
- ③ 学生の応募と企業への依頼を一本化
- ④ 正課・正課外にかかわらない
- ⑤ 県外生の積極的な受け入れ

取り組み編 山口県インターンシップ推進協議会

組 織

会 長 岡 正朗（山口大学 学長）

副会長 田村浩章（山口県経営者協会 会長）

顧 問 山口県商工労働部長 厚生労働省山口労働局長

● 加入正会員 16校 5団体

山口大学

山口県立大学

下関市立大学

徳山大学

山口学芸大学・山口芸術短期大学

宇部フロンティア大学

宇部フロンティア大学短期大学部

山口東京理科大学

東亜大学

梅光学院大学

至誠館大学

水産大学校

大島商船高等専門学校

徳山工業高等専門学校

宇部工業高等専門学校

専門学校Y I Cグループ

山口県経営者協会

山口経済同友会

山口県商工会議所連合会

山口県商工会連合会

山口県中小企業団体中央会

取り組み編 山口県インターンシップ推進協議会

目 的

山口県の高等教育機関等、事業所、経済団体、行政機関が相互に連携・協力し、学生が企業等へのインターンシップ事業を通じて、高い職業意識の育成を円滑かつ効率的に推進し、県内の高等教育全体の資質向上に資するとともに、山口県の経済社会の活性化に貢献することを目的とする。

取り組み編 山口県インターンシップ推進協議会

課 題

- 財政問題 : 県からの委託事業と会費（学校の負担）
- 教育効果 : おまかせお願いベースから
新しい“協働”の関係へ 一緒に！
- 学習機会 : すべての学生に学びの機会を
意識の低い学生にも
量的拡大は重要な課題
- 参加拡大 : 学生ニーズにあった実施方法の開発
- 県外強化 : 地域に果たす協議会のミッション
規模拡大効果によるメリット獲得

取り組み編 山口県インターンシップ推進協議会

新たな取り組み

山口県インターンシップ推進協議会は、
県内学校によるキャリア教育の推進主体として、
県内企業・地域社会とともに学びを創出していきます。

- ① 教職員勉強会
- ② 1 day 学習会 産業界の協力のもと実施する学習会
- ③ やまぐちインターンシップ&キャリア学習フェア
- ④ やまぐち総合ビジネスメッセ 経営者が夢を語る

企業・行政・学生・大学の連携強化
によるインターンシップ拡大へ

まとめ編 地方でインターンシップを拡大するには？

- 企業が参加しない理由は、メリットとノウハウ
 - ⇒ コーディネート機能の強化
 - ⇒ 教育プログラム構築へのコンサルティング
- 学生が参加しない理由は、
 - ①就職活動 ②お金 ③気持ち ④公務員
 - ⇒ 情報開示（日程・内容・ポリシーなど）
 - ⇒ 教育プログラムの質向上
 - ⇒ 多様で多彩なインターンシップの開発
（実施期間・学期中・平日など柔軟に）
 - ⇒ 広域連携による相互乗入

地域協議会の役割は大きい・・・とてもとても